

## 新来会者歓迎礼拝 パウロの信仰①信仰義認

ローマ書3章9-28節  
2018,4,15 HKJCF

### 概要

序) ①神の義とユダヤ人②信仰義認/  
宗教改革/近代社会③ローマ書から

I義認の重要性

II人間の墮落/原罪/虚無 v9-18

III律法の無力性 v19-20

IV義と愛の一致 v21-28

「神様,私は全ての点で神様の義の水  
準、祝福の水準に到達しません 私の  
業ではなく、神様の業としての救い  
を受け取らせてください 私の心を幼  
子の様に素直にしてください」

### I義認の重要性

- 1、義人のみが神様の祝福に与れる  
神様との交わり/永遠のいのち/神の国
- 2、イスラエルの選び/契約/律法
- 3、契約に基づく律法順守が条件  
⇒①日本文化は義に変えて集団の和  
②近代的個人/多民族国家/国際主義に  
は適用不能⇔聖書の普遍性 和/情/身  
内→正義/愛/普遍 同調圧力→多様  
性/一致/個の確立③もし、教会が社会  
正義により敏感だったら？

### II人間の墮落/原罪/虚無

- 1、すべての人が罪の下にある  
①宗教的/戒律的なユダヤ人  
②哲学的/快樂的なギリシャ人も
- 2、6つの否定、文頭/文末は2回も  
→人間は本質的・絶対的に墮落
- 3、喉/舌/唇/口/足/道/目：7つの否定  
→人間は行動的・存在的に墮落  
⇒①墮落後の人間は包括/具体的に神  
様の義の基準に到達しない②律法→  
法令→自己義認 律法の役割？

### III律法の無力性

- 1、明確に律法(=神様の義の基準)を教え  
られたユダヤ人も神様の裁きの例外では  
ない 律法の限界①
- 2、律法は良心より完全に罪意識を生じ  
させる 律法の限界②
- 3、従って律法を完全に行えない私たち  
は神様の前に義と認められない  
⇒①律法を行なえず、義とされない  
②律法とは別の義認の道が必要  
③主が道 ヨハネ14:6,イザヤ61:1-3

### IV義と愛の一致

- 1、律法とは別の聖書の預言する義
- 2、キリストの義を信仰で受取る義
- 3、神様の恵みによって実現され/宣言  
され/認められ/与えられる義  
⇒①神の子の十字架と復活で義と見、宣言  
し、与えてくださる義②子どもの様に無邪  
気に受け取るのが信仰  
③律法は悪い夫 ローマ7:1-6  
④キリストの霊による自由 7:6  
⑤聖霊によって神の子の生活 8:1-6  
結) 十字架で義と愛が成就 12:9,13:8c